

第38回医療情報学連合大会学術大会
チュートリアル

始めよう
GS1識別コードのスキヤンで
ラクラク履歴管理と
手術準備作業のカイゼン

～福井大学病院の事例から導入の鍵を探る～

福井大学医学部
笠松 眞吾
石本洋子、江守 直美、
佐藤 一史

日本医療情報学会 COI 開示

筆頭発表者名： 笠松 眞吾

共同発表者名： 石本洋子、

江守 直美、佐藤 一史、

福井大学医学部、附属病院

演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある
企業などはありません。

Agenda

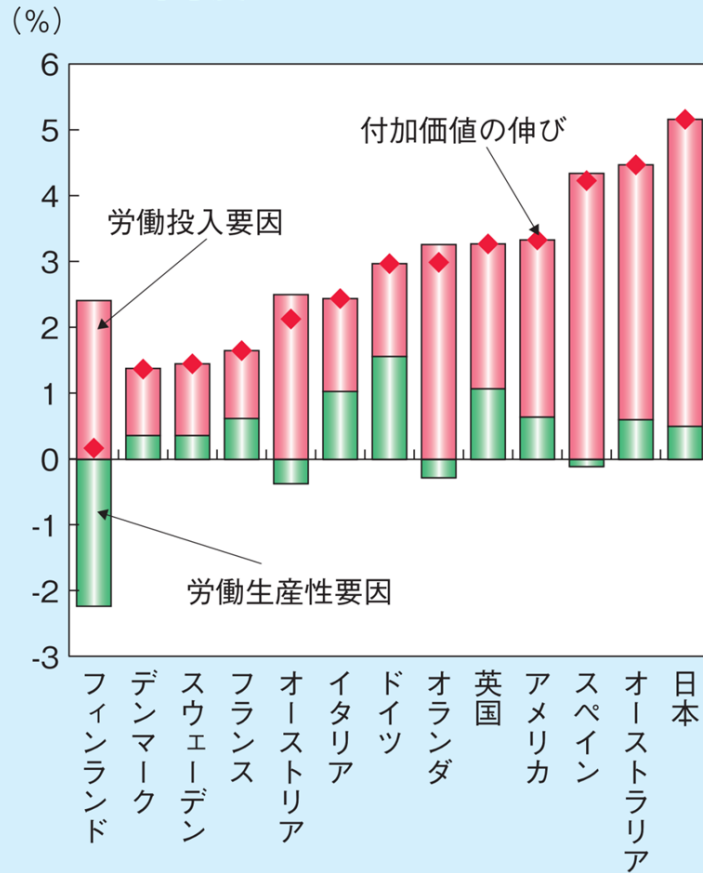
- 導入の背景
 - 導入メリット
 - 導入予算確保に向けた傾向と対策
 - 導入までの下準備
 - 段階導入と一括導入
 - 導入効果と費用対効果評価
-
- 特別企画 手術セット組み立て体験

- 労働生産性を見ると、医療・福祉産業は2000年代平均で1%に満たない生産性上昇率で産業平均を下回る。
- 医療・福祉産業の相対的に高い付加価値成長率は、その多くが労働投入の増加によってもたらされている。
- 生産性の拡大を伴わない付加価値の増加は持続可能とはいえない。

医療・福祉産業において、イノベーション等を通じて生産性を高めることで持続的な成長を実現できれば、これまで以上に成長と雇用拡大を両立させることが可能かもしれない。

医療情報技術イノベーションで生産性を高め持続的な成長を実現

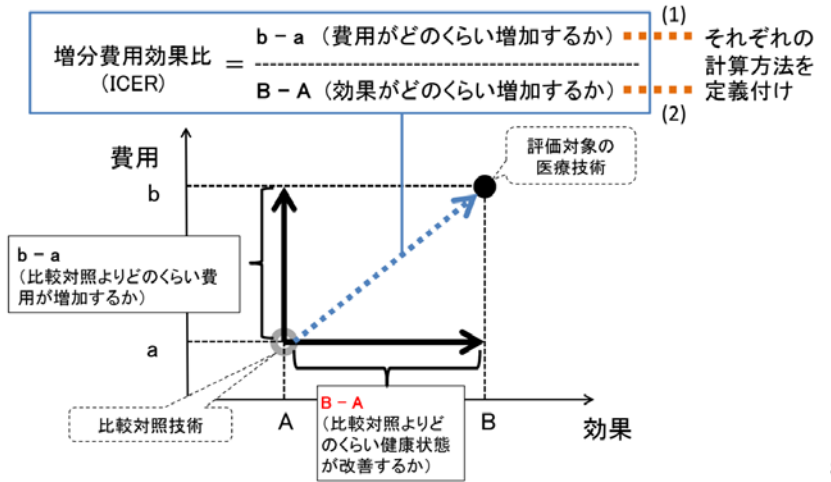
(2) 付加価値の伸びに対する労働生産性の寄与度



平成23年度年次経済財政報告 経済白書
 (経済財政政策担当大臣報告)
 —日本経済の本質的な力を高める—
 平成23年7月内閣府

費用効果分析の手順

- ① 評価対象の医療技術及び比較対照の医療技術について、「費用」と「効果」を別々に積算
- ② 増分費用効果比 (ICER; Incremental Cost-Effectiveness Ratio) を評価



2016/10/24 費用対効果評価の動向と今後の展望
 —価値 (Value) に基づく医療技術評価へ—
 厚生労働省保健局医療課

手術件数増加に応じて、単純に機器と人員を増やす

労働生産性は、増加

資本・労働比率 (資本装備率) は、変わらず、労働集約的に

全要素生産性 (TFP) = 効率化は進まない

ヒューマン リソース & エラー リスクの増大

全要素生産性 (Total Factor Productivity : TFP)

資本と労働の増加によらない生産の増加を表す

導入の背景

- 病院によるGS1事業者コード取得の必要性
 - 4年間のGS1コード導入費用など
 - 既存器具に潜む問題の提起
 - 世界的なUDIの流れ
-

メリット

- 安全確保
 - ✓ トレーサビリティ
- 鋼製器具UDIの術後スキャン
 - ✓ 体内遺残対策
 - ✓ プリオン対策
 - ✓ WDの適正運用と効率化

メリット

- 組み立てUDI読み取り
 - ✓ 組み立て工数削減
 - ✓ 滅菌装置の適正運用と効率化
- 手術準備と手術カート
 - ✓ 手術IDのスキヤンでピッキングをナビゲーション
 - ✓ コンテナ、カートUDIのスキヤン

メリット

- 手術スケジュールの安定化
 - ✓ フラッシュ滅菌の管理
 - ✓ リコール時の迅速対応
- GS1コードを使って災害時に広域連携
 - ✓ 手術コンテナ
 - ✓ 術式セットのGS1によるマスター共通化

導入予算獲得に向けた傾向と対策

- 導入タイミングと投資効果
- アピールポイント
 - ✓ 段階導入と一括導入
 - ✓ IoT化によるワークフローのカイゼン
 - ✓ 費用対効果
 - ✓ 働き方改革
 - ✓ 労働生産性の向上

- 導入までの下準備
 - ✓ 鋼製器具マスター整備
 - ✓ Kナンバーなど術式整備
 - ✓ コンテナ、手術セット整備
 - ✓ 刻印作業のスケジュール

福井大学病院における導入効果

- リスクの計量化と可視化
- 費用対効果
 - ✓ 直接効果
 - ✓ 間接効果、副次効果
- 減価償却
- GS1標準を院内の様々な部署で活用する

守りの履歴管理から

攻めの

利益を生む

トレーサビリティへ



詳細は、Youtube

fukui ubi

で検索



**Today's
Special!**

特別体験企画

**やってみよう！
手術セットの組み立て**